

日本地域学会ニューズレター

2012年 no.1

平成 24年 2月 15日

目 次

I.	設立 50 周年記念年次大会 (平成 24 年 10 月 6-8 日) のご案内 論文報告の募集, シンポジウムについて	...	2
II.	総会報告 和歌山大学で開催された日本地域学会総会についての報告	...	3
III.	理事会報告 平成 23 年度第 6-8 回理事会についての報告	...	4
IV.	委員会報告 1. 学会賞選考委員会 (受賞者の紹介) 2. 優秀発表賞選考委員会 (受賞者の紹介) 3. 機関誌編集委員会 (第 34-35 回についての報告)	...	6
V.	会費納入のお願い 平成 24 年度会費請求額, 会費早期納入の特典, Web 会員について	...	8
VI.	日本地域学会設立 50 周年記念事業へのご支援のお願い	...	9
VII.	第 12 回 PRSCO Summer Institute in Beijing, China のお知らせ	...	10
VIII.	学会賞候補者推薦の募集	...	11
IX.	会員通信 <研究室便り> 徳島大学大学院総合科学教育部 内藤徹研究室 (徳島大学大学 院総合科学教育部教授 内藤徹)	...	12
X.	会員の移動	...	13
	正会員入会申込書	...	16

I. 設立 50 周年記念年次大会 (平成 24 年 10 月 6(土)–8 日 (月)) のご案内

平成 24 年 (2012 年) は日本地域学会の設立から 50 周年にあたります。この大切な節目の年次大会が、立正大学において下記の通り開催されます。会員の参加の下、地域学のこれまでの歴史を振り返り、さらに今後の展望を描く大会にするべく、世界から著名な研究者を招いた記念式典も開催される予定です。会員諸賢におかれましては、論文報告、特別セッションの編成等、奮ってご参加下さい。

記

大会名: 設立 50 周年記念 第 49 回日本地域学会年次大会

開催日: 平成 24 年 10 月 6 日 (土)–8 日 (月)

開催校: 立正大学

会場: 立正大学大崎キャンパス 〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16

大会準備委員会 委員長: 藤岡 明房 (立正大学経済学部 教授)

大会準備委員会 副委員長: 小野 保 (立正大学経済学部 教授)

セッション:

・ 共通論題:

- (a) 地域経済・地域雇用
- (b) 産業集積・情報
- (c) 環境評価・環境政策
- (d) 地域環境・地球環境
- (e) 国際経済政策
- (f) 交通・コミュニケーション
- (g) 経済分析・モデル分析
- (h) 意識分析・行動分析
- (i) 地方分権・地方財政・道州制
- (j) 持続可能都市・地域システム
- (k) 都市再生・地域再生
- (l) 沿岸域管理・海洋政策
- (m) ツーリズム
- (n) アジア経済

・ 一般論題: 立地、人口移動、地域経済等の地域学一般の課題すべて

(公開) シンポジウム

テーマ: 地域経済の持続性 (仮題)

以上

論文報告・特別セッション編成の募集

論文報告と特別セッションの編成を希望される方は、下記の事項を明記し、日本地域学会事務局へ e-mail, fax または封書等で応募して下さい。応募締切は平成 24 年 5 月 31 日です。なお、専用の応募用紙を利用される場合は、学会 HP からダウンロードできます。

[論文報告] 応募の必要事項

1. 論文タイトル
2. 上記が和文の場合には、同英文訳
3. 著者名、所属 (複数の場合には、発表者を明記)
4. 同上英文表記
5. Abstract: 和文 (700 字以内) 及び英文 (200 words 以内) の双方を提出
6. 対応責任者氏名、連絡先住所、tel, fax, e-mail アドレス等
7. 希望討論者 2 名 (会員に限る; 必ずしも希望通りとならないことをあらかじめご承知おき下さい)

[特別セッション編成] 応募の必要事項

1. セッションタイトル及びセッションの意図、内容等の概要 (和文 300 字以内、英文 100 words 以内)
2. 座長 (1-2 名の会員) 氏名、所属、同英文表記
3. 1 セッション当たり 3-4 編の報告を目途に、各論文についての上記論文報告希望に準ずるデータ。但し、討論者は各々の論文について 1 名でも可。
4. 対応責任者氏名、連絡先住所、tel, fax, e-mail アドレス等

論文報告等に関する問合せ及び応募は、以下の日本地域学会事務局宛にお願いします。

筑波大学大学院生命環境科学研究科
氷鮑 (ひがの) 研究室内

〒 305-8572 つくば市天王台 1-1-1

tel/fax: 029-853-7221

メールによる応募: app@jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp

メールによる問合せ: sec@jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp

応募用紙の入手: http://jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp/index_jap.html

年次大会の参加申込み

大会及び懇親会の参加申込み方法は、次号のニューズレター及び学会 HP にて公表する予定です。

学会 HP: http://jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp/index_jap.html

II. 総会報告

平成 23 年度総会が、去る平成 23 年 10 月 9 日 13 時 15 分より、年次大会の会場である和歌山大学(基礎教育棟 1 階 G-103 室)で開催されました。まず、はじめに氷鉋会長(筑波大学大学院教授)挨拶の後、外国からの来賓代表として Prof. Dr. Kingsley Haynes 氏よりご挨拶頂きました。この後、氷鉋会長を議長として審議と報告が行われました。つづく学会賞授与式では、酒井泰弘委員長より経過報告の後、氷鉋会長より受賞者に各賞が授与され、総会は無事閉会しました。当日の次第、審議及び報告の内容は以下の通りです。

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓挨拶

Prof. Dr. Kingsley Haynes (元 RSAI 会長)

4. 議題

1) 新入会員・退会希望者

渋澤総務担当常任理事より新入正会員 59 名、退会正会員 38 名、退会法人会員 1 団体について報告があり、これを承認。

2) 平成 22 年度の事業報告

この件について渋澤総務担当常任理事より報告があり、これを承認。

3) 平成 22 年度の収支決算

この件について渋澤総務担当常任理事より報告があり、柳原監事より適正に処理されていることが報

告され、これを承認。

4) 平成 24 年度の事業計画

この件について渋澤総務担当常任理事より説明があり、これを承認。

5) 平成 24 年度の収支予算

この件について渋澤総務担当常任理事より報告があり、これを承認。

6) 平成 23 年度の収支予算(修正案)

この件について渋澤総務担当常任理事より報告があり、これを承認。

7) 名誉会員

白井名誉会員推薦委員長より青山吉隆会員が推薦され、これを承認。

8) 第 49 回(2012 年)年次大会の開催地及び開催校等
渋澤総務担当常任理事より立正大学で開催することが報告され、これを承認。

9) 第 50 回(2013 年)年次大会の開催地及び開催校等の取り扱い

渋澤総務担当常任理事より西日本で候補を選定中であることが報告され、今後の取り扱いについては事務局に一任することを承認。

10) 日本地域学会設立 50 周年記念特別表彰 論説賞・論文賞・功績賞に関する規定

酒井学会賞選考委員長より、設立 50 周年記念特別表彰を定める規程について報告があり、これを承認。

11) 年次大会・地域学研究投稿審査等に関わる事務手続きの IT 化について

渋澤総務担当常任理事より、J-STAGE3 投稿審査システムを導入し、事務手続きの IT 化に向けたプロジェクトを行うことの報告があり、これを承認。

5. 報告

1) 『地域学研究(41 巻)』の編集

多和田編集委員長より編集経過について報告された。

2) EBSCO の件

氷鉋会長より、地域学研究の EBSCO への収録の検討経過について報告された。

3) RSAI の動向

4) PRSCO の動向

5) その他

6. 学会賞授与式

1) 選考経過報告と受賞者紹介(注)

功績賞: 多和田眞
学術賞

論文賞: 宮城俊彦, Amit Batabyal

奨励賞: 今西衛, 金少勝

著作賞: 梶原文男, 内藤徹, 福山博文, 伊ヶ崎大理,
三井康壽, 矢吹雄平, 実積寿也

学位論文賞

田中啓一賞(博士論文賞): 幡谷祐一, 進藤優子, Sujian PIYA, 大野正久, 葛建平

熊田禎宣賞(修士論文賞): 山根真明, 長岡耕平, 沖本まどか

発表賞(対象は前大会での発表者)

最優秀発表賞: 加藤裕人

優秀発表賞: 福間比呂志, 田栗勝吾, 竹口祐二, Hos-sain NAHID, Jianping GE, 李楊, 上田剛将, 菅原喬史, 霜鳥知行

50周年記念特別表彰

功績賞: 大石泰彦, Peter Nijkamp

論文賞: Geoffrey J.D. Hewings

論説賞: Lay James Gibson

(注) 授賞対象の詳細は「IV. 委員会報告」でお知らせします。

2) 学会賞授与

3) 受賞者挨拶

7. その他の連絡事項

8. 閉会の辞

III. 理事会報告

平成23年度 日本地域学会 第6回理事会

日時: 平成23年6月19日(日) 13:00-15:00

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 水飽, 加賀屋, 宮田, 渋澤, 高橋, 白井, 木南莉莉, 河野, 斎藤, 酒井, 多和田, 徳永, 戸田, 富川, 長野, 萩原, 原, 福井, 藤岡, 松本, 三橋, 宮城の各理事(ただし, 阿部, 有吉, 近藤, 中山, 林の各理事より委任状付託); 吉田年次大会準備委員会委員長, 木南章編集委員会副委員長; 水野谷, 櫻井, 小林, 内田, 古澤の各幹事; 坂田事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

渋澤総務担当常任理事より, 前回理事会で報告された新入会員・退会希望者に訂正があり, 新入会員1

名の重複と, 3名の退会の遺留について説明があった。前回理事会以降, 申込のあった29名の正会員(個人会員)の入会と3名の正会員(個人会員)の退会及び1団体(法人会員)の退会希望を審議し, 総会に諮ることを諒承。

2. 第48回年次大会平行セッション及びシンポジウムのプログラム編成

吉田年次大会準備委員会委員長より, 年次大会の収支計画について説明があり, これを諒承。櫻井幹事と水飽会長より, 平行セッションの構成について説明があり, 座長と討論者の割り当てについて検討を行った。これ以降の並行セッションの構成については事務局に一任する説明があり, これを諒承。

3. 第49回年次大会の開催地及び開催機関

藤岡年次大会準備委員会委員長より, 準備状況について説明があり, これを諒承。

4. 第20回学会賞選考委員会の件

酒井学会賞選考委員長より日本地域学会学会賞の選考について報告と説明があり, 審議の後, 次期総会に諮ることを諒承。50周年記念特別表彰については, 次回の委員会で審議する予定であるとの報告がされた。

5. 『地域学研究』セット販売の推進

水飽会長より, 『地域学研究』セット販売の推進について説明があり, これを諒承。

6. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

水飽会長より, 新入会員勧誘について説明があり, これを諒承。

7. その他

吉田年次大会準備委員会委員長より, 第49回年次大会のシンポジウムの土木学会環境システムとの共催依頼について報告と説明があり, これを諒承。

報告事項

1. 機関誌編集委員会報告

多和田機関誌編集委員長より『地域学研究』41巻の掲載候補論文の選考結果と印刷状況について報告が行われた。

2. 平成23年度第4回及び第5回理事会(持回り)

水飽会長より, 第4回理事会(持回り)日本不動産学会平成23年度春季全国大会(シンポジウム)「東日本大震災とまちづくり: これからの防災まちづく

りはどう進めるべきか？」共催名義使用の件、及び第5回理事会(持回り)東日本大震災の経験から再考する自然環境との共生～食と農と村をつなぐ地域再生への展望～共催名義使用の件について説明があり、諒承済みであることが報告された。

3. RSAI の動向

4. PRSCO の動向

5. その他

氷鮑会長より、50周年記念事業寄附金の振込口座の変更について説明があり、これを諒承。

平成23年度 日本地域学会 第7回理事会

日時: 平成23年10月8日(土) 12:00-13:00

場所: 和歌山大学経済学部本部棟5階第2会議室

出席者: 氷鮑, 細江, 加賀屋, 宮田, 渋澤, 阿部, 白井, 木南, 河野, 斎藤, 酒井, 多和田, 徳永, 中山, 萩原, 藤岡, 松本, 三橋, 三友の各理事(ただし, 高橋, 有吉, 岡村, 近藤, 戸田, 富川, 林, 原, 福井, 宮城の各理事より委任状付託): 柳原監事, 吉田第48回年次大会準備委員会委員長, 辻本副委員長, 木南章編集委員会副委員長: 水野谷, 櫻井, 内田, 小林, 古澤の各幹事: 坂田事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

渋澤総務担当常任理事より、前回理事会以降、申し込みのあった12名の正会員(個人会員)の入会と1名の正会員の退会希望を審議し、総会に諮る事を諒承。

2. 平成23年度第48回年次大会の運営

これに関して吉田大会実行委員長と氷鮑会長より、プログラムの変更と総会次第について説明があり、これを諒承。

3. 日本地域学会50周年記念事業

これに関して酒井学会賞選考委員長より、設立50周年記念特別表彰論説賞・論文賞・功績賞に関する規定について説明があり、これを諒承。

4. 50周年記念シンポジウム及び東日本大震災シンポジウムの企画の件

これに関して宮田副会長より、50周年記念シンポジウム及び東日本大震災シンポジウムの企画案について説明があり、これを諒承。

5. 名誉会員推薦委員会の件

これに関して白井名誉会員推薦委員長より、青山会員を名誉会員に推薦する説明があり、これを諒承。

6. 学会賞選考委員会の件

これに関して酒井学会賞選考委員長により、平成23年度の学会賞の受賞者について説明があり、これを諒承。

7. 年次大会・地域学研究投稿審査等に関わる事務手続きのIT化について

これに関して渋澤総務担当常任理事より、JSTが実施している平成23年度のJ-STAGE3投稿審査システムの運用開始枠に選定され、今年度中に運用を開始する予定であることの説明があり、これを諒承。

8. 年次大会次期開催地・開催校

渋澤総務担当常任理事より、次回の年次大会は立正大学において実施する予定である旨説明があり、これを諒承。

9. 年次大会次々期開催地・開催校

渋澤総務担当常任理事より、西日本で検討中であることが報告され、今後この取扱については事務局に一任することを諒承。

報告事項

1. 『地域学研究』第41巻の編集

多和田機関誌編集委員長より『地域学研究』第41巻の掲載候補論文の選考結果と印刷状況について報告された。

2. RSAI の動向

3. PRSCO の動向

平成23年度 日本地域学会 第8回理事会

日時: 平成23年12月18日(日) 12:30-14:30

場所: 学術総合センター 会議室

出席者: 氷鮑, 加賀屋, 宮田, 渋澤, 高橋, 白井, 岡村, 木南莉莉, 河野, 斎藤, 酒井, 多和田, 徳永, 原, 福井, 藤岡, 三橋, 三友の各理事(ただし, 有吉, 近藤, 長野, 萩原, 宮城の各理事より委任状付託): 柳原監事, 鐘ヶ江学術副委員長, 吉田第48回年次大会実行委員会委員長, 木南章副編集長, 水野谷, 櫻井, 内田, 古澤の各幹事: 坂田事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

渋澤総務担当常任理事より、前回理事会以降、申し込みのあった4名の正会員(個人会員)の入会と13

名の正会員の退会希望を審議し、総会に諮る事を諒承。

2. 第48回年次大会会計報告

これに関して吉田大会実行委員長より、年次大会の会計報告があり、参加費等の収入で費用を賄うことができたため、大会開催費補助金を使用しなかったことの報告があり、これを諒承。これに関して、水鉋会長より、この剰余分について一般会計から50周年記念特別事業に繰り入れたいとの要望がだされ、これを諒承。

3. 日本地域学会創立50周年記念事業

水鉋会長より、寄付金の納入、50周年記念誌の編集、および記念式典の準備状況について説明があり、これを諒承。宮田理事より、50周年記念事業について説明があり、これを諒承。木南理事より、東京大学と新潟大学のJSRS AI 50th Anniversary Joint Seminarについて報告がされた。

4. 第49回(2012年)年次大会準備委員会の構成

藤岡年次大会準備委員長より、準備委員会の構成について説明があり、これを諒承。

5. 第49回(2012年)年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成

藤岡年次大会準備委員長より、会場、補助金等の準備状況について説明があり、これを諒承。

6. 第50回(2013年)年次大会の開催地

渋澤総務担当常任理事より、徳島大学を候補地として打診中であるとの報告があり、これを諒承。

7. 学会賞優秀発表賞の件

酒井学会賞優秀発表賞選考委員長より、選考結果について報告があり、これを諒承。

8. 『地域学研究』セット販売の推進

水鉋会長より、セット販売の推進について説明があり、これを諒承。

9. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

水鉋会長より、キャンペーン担当者の住所変更と担当者に鐘ヶ江学術副委員長を推薦したい旨提案があり、これを諒承。

10. その他

水鉋会長より、次年度の予算から事務局秘書経費を繰り入れたいとの提案がなされ、これを検討することを諒承。

福井理事より、時限付き分科細目表の新分野「土地・住宅・不動産研究」の申請状況について説明があり、来年度以降も積極的な応募していただきたいとの提案があり、これを諒承。

報告事項

1. 『地域学研究』第41,42巻の編集

多和田機関誌編集委員長より、『地域学研究』第41巻及び第42巻の掲載候補論文の選考結果と印刷状況について報告された。J-STAGE投稿システムの導入により、編集体制(担当編集者の導入)・方針(5段階評価から4段階評価へ)に変更が生じることの説明があった。

2. RSAIの動向

水鉋会長より、RSAIの世界大会、ヨーロッパ大会、北米大会について報告があった。

3. PRSCOの動向

渋澤総務担当常任理事より、PRSCO Summer Instituteについて報告があった。

IV. 委員会報告

1. 学会賞選考委員会

学会賞選考委員会(委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授)では、慎重審議のうえ下記の会員の方々に平成23年度(第20回)日本地域学会学会賞を授与する事を決定しました。なお、授与式は先に開催されました総会の席上でとりおこなわれました。

功績賞:

多和田真(名古屋大学大学院経済学研究科教授)

論文賞:

宮城俊彦(東北大学大学院情報科学研究科教授)

主題: リグレット・マッチング理論に基づく行動選択モデル

Amitrajeet A. Batabyal(Rochester Institute of Technology 教授)

主題: Endogenizing the Reservation Value in Models of Land Development Over Time and Under Uncertainty

奨励賞:

今西衛(福岡大学都市空間情報行動研究所ポスドクター)

主題: 市街地再開発事業のリスク評価

金少勝(浙江大学農業与農村発展研究センター准

教授)

主題: Effects of Agglomeration on Production in the Chinese Food Industry: A Panel Data Analysis

著作賞:

梶原文男 (大分県土木建築部建設政策課課長補佐) 著

『地域政策アセスメント - 自治体政策のセカンドオピニオン - 』

内藤徹 (徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部教授)

福山博文 (鹿児島大学法学部准教授)

伊ヶ崎大理 (日本女子大学家政学部講師) 著

『空間と持続可能な環境政策の理論的研究』

三井康壽 (政策研究大学院大学客員教授) 著

『大地震から都市をまもる』

矢吹雄平 (岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授) 著

『地域マーケティング論 - 地域経営の新地平 - 』

実積寿也 (九州大学大学院経済学研究院教授) 著

『通信産業の経済学』

学位論文賞

田中啓一賞 (博士論文賞):

幡谷祐一 (茨城県信用組合理事長)

主題: 産学官共同のバイオディーゼル燃料プロジェクトの総合評価と技術的知見に関する研究 (筑波大学提出 平成 22 年 3 月 25 日, 博士 (学術))

進藤優子 (山口県立大学国際文化学部准教授)

主題: The Macroeconomic Effect of Education Policy on Human Capital Accumulation: Simulation Analysis in an Endogenous Growth Framework (名古屋大学提出 平成 22 年 9 月 28 日, 博士 (経済学))

Sujan PIYA (Head of Market and Livelihood Programme, Practical Action Nepal)

主題: Factors affecting agricultural productivity in Nepal: Macro and micro perspectives (東京大学提出 平成 23 年 3 月 24 日, 博士 (農学))

大野正久 (九州大学炭素資源国際教育センター学術研究員)

主題: 財政的外部性とソフトな予算制約の経済分析—地方分権化における政府間財政関係を中心に— (九州大学提出 平成 22 年 2 月 22 日, 博士 (経済学))

葛建平 (中国地質大学人文経営学院講師)

主題: Impacts of Expanding Fuel Ethanol Production on Rural Economy in China: A Computable general Equilibrium Analysis (筑波大学提出 平成 23 年 3 月 25 日, 博士 (学術))

熊田禎宣賞 (修士論文賞):

山根真明 (広島県政策局過疎・地域振興課主査)

主題: 食品加工事業の農業に対する後方連関効果に関する研究 - 過疎地域における産業振興策の検討のために - (広島大学提出 平成 21 年 3 月 27 日, 修士 (マネジメント))

長岡耕平 (八千代エンジニアリング株式会社技師)

主題: 消費電力あたりのごみ焼却量を指標とした清掃工場の性能水準変化に関する研究 (和歌山大学提出 平成 23 年 3 月 25 日, 修士 (工学))

沖本まどか (名古屋大学経済学研究科博士課程後期)

主題: 食品貿易を事例とした国際的な情報の非対称性の下での国際貿易に関する理論的研究 (名古屋大学提出 平成 23 年 3 月 25 日, 修士 (経済学))

50 周年記念特別表彰

功績賞:

大石泰彦 (東京大学名誉教授)

Peter Nijkamp (Free University 教授)

論文賞:

Geoffrey J.D.Hewings (University of Illinois 教授)

主題: The Decomposition of Goods and Services in a Block Structural Path Analysis in the Indonesian Economy

論説賞:

Lay James Gibson (The University of Arizona 教授)

主題: Translational Regional Science, Input/Output Analysis and Community Engagement: New Perspectives for Closing the High Tech - Community Gap

2. 優秀発表賞選考委員会

優秀発表賞選考委員会 (委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授) では、和歌山大会での発表を対象とした慎重審議により、下記の会員の方々に平成 23 年度日本地域学会学会賞優秀発表賞を授与する事を決定しました。また優秀発表賞選考委員会での審議は継続しており、今後、今回の優秀発表賞受賞者の中から 1 名の最優秀発表賞受賞者が決定される予定です。最優秀発表賞の授与式は、本年の年次大会 (立正大学) でとり行われます。

優秀発表賞:

Nontachai TITHIPONGTRAKUL (南山大学)

主題: 地域環境税の応用一般均衡分析

Nan XIANG (University of Tsukuba)

主題: Comprehensive Evaluation of Effectively

Utilizing Reclaimed Water to Accomplish Sustainable Development in Tianjin, China

佐藤 亮 (長崎大学)

主題: 公共事業の合意形成過程における住民参加の在り方に関する研究

Fan LI(Ritsumeikan Asia Pacific University)

主題: Potential Assessment of Residential Solar Power System in Japanese Local Cities

齊藤 優太 (北海学園大学)

主題: 観光地域魅力度に着目した LCC 導入の効果分析

Shamsunnahar KHANAM(Toyohashi University of Technology)

主題: A Computable General Equilibrium Analysis of Sustainable Toyohashi City with Green Energy and Smart Technology

金 智恵 (和歌山大学)

主題: 中食構造の変化と環境影響に関する分析

3. 編集委員会報告

日本地域学会 第 34 回機関誌編集委員会

日時: 平成 23 年 9 月 25 日 (日) 14:00-15:30

場所: 学術総合センター 会議室

出席者: 多和田, 松本, 木南 (章), 水鉤, 加賀屋, 渋澤, 高橋, 藤岡, 光多, 吉田の各編集委員 (ただし浅見, 木南 (莉), 実積, 三友, 戸田, 福井の各委員より委任状付託), オブザーバとして小林, 櫻井, 古澤, 水野谷, 内田の各幹事, 坂田事務局秘書

議題

1) 『地域学研究』第 41 巻掲載候補論文の選考
レフェリー評価に基づき第 41 巻の掲載論文及び掲載候補論文の選考が行われた。

2) 同上機関誌印刷方針
第 41 巻の発行計画及び印刷状況について, 渋澤総務担当常任理事より報告があった。

3) 同上機関誌書評応募図書 of 取扱い

4) その他

J-STAGE3 投稿審査システムの平成 23 年度運用開始枠に選定され, 今年度中に運用を開始する予定であることが渋澤委員・事務局長から報告された。

日本地域学会 第 35 回機関誌編集委員会

日時: 平成 23 年 12 月 18 日 (日) 11:00-12:00

場所: 学術総合センター 会議室

出席者: 多和田, 木南 (章), 水鉤, 加賀屋, 木南 (莉), 実積, 渋澤, 高橋, 藤岡, 三友, 福井, 吉田の各編集委員

(ただし浅見, 光多の各委員より委任状付託), オブザーバとして櫻井, 古澤, 水野谷, 内田の各幹事, 坂田事務局秘書
議題

1) 『地域学研究』第 41・42 巻掲載候補論文の選考
レフェリー評価に基づき, 第 41・42 巻の掲載候補論文の選考が行われた。

2) 同上機関誌印刷方針
第 41 巻及び第 42 巻の発行計画と印刷状況について, 渋澤総務担当常任理事より報告があった。

3) 同上機関誌書評応募図書 of 取扱い

V. 会費納入のお願い

日本地域学会 会員 各位

日本地域学会
会長 水鉤 揚四郎

謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて, 早速ですが, 同封致しました請求書の通り, 日本地域学会平成 24 年度会費をご請求申し上げますので,

納入期限 平成 24 年 3 月末日

までに同封の振込用紙にてお支払いいただけます様お願い申し上げます。

なお, 預金口座引落しの手続きを平成 24 年 3 月 20 日までに完了された方には, 平成 24 年 6 月 27 日に請求内容にしたがって引落しを行いますのでお早めに手続きをおとり下さる様お奨め致します。また, 学生会員年会費の適用には学生証 (写し) の提出が必要ですので, fax か封書にて学会事務局までお送り下さい。

何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが, 事務処理の円滑化及び再度にわたる督促の経費節減, さらに予想されます円安傾向の為替リスク回避のため上記期限までの早期納入にご協力頂けますよう, 重ねてお願い申し上げます。

敬 具

1. 平成 24 年度日本地域学会会費等 (適用期間限定)

1) 平成 24 年度 (平成 24 年 4 月 1 日-平成 25 年 3 月 31 日)

一般会員年会費 10,000 円

学生会員年会費 7,000 円

2) *Papers in Regional Science* を印刷された形での購読希望の方の追加料金

一般会員 7,000 円

学生会員 3,000 円

但し、これらの会費、購読料が適用されるのは、

a) 納入期限(平成 24 年 3 月末日)までに上記会費を納入された日本地域学会 会員の方、

b) 平成 24 年 3 月 20 日までに預金口座引落としの手続きを完了された日本地域学会 会員の方、または、

c) 4 月以降に校費(公費)から支出する事を希望し、納入期限(平成 24 年 3 月末日)までにその旨、及び支払予定日を事務局に申し出た日本地域学会 会員の方、に限りますのでご注意ください。

2. 会費の期限内納入の特典

外国為替市場の成り行きが不透明な事もあり、上記の金額で期限を遅れて RSAI 会費をご納入いただいても、著しく為替差損を生じ、これを日本地域学会の一般会計が負担しなければならない危険が見込まれます。

日本地域学会では、この様な事を考慮して、上記納入期限に遅れた場合には、

- 1) 一般会員年会費として 11,000 円を請求する
- 2) 学生会員年会費として 8,000 円を請求する
- 3) *Papers in Regional Science* を印刷物として購読希望の追加料金を一般会員は 8,000 円を請求する
- 4) 上記 学生会員は 4,000 円を請求する

という事を理事会で決定致しております。この主旨をご理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、経費節減にご協力頂けますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。

3. Web 会員

本学会機関誌『地域学研究』の電子ジャーナルを、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)により発行しております。これにより、会員の研究成果が広く世界に向けて情報発信されております。Web 会員に登録されますと、最新の論文が電子ジャーナル(本文 PDF)として閲覧可能となります。

Web 会員登録を希望される方は、学会 HP から、電子ジャーナル『地域学研究』個人購読者認証申込書(Web 個人会員)をダウンロードしていただき、これにご記入の上、事務局までお申し込みください。

Web 会員価格(平成 24 年 4 月 1 日ー平成 25 年 3 月 31 日)は以下の通りとなります。

- 1) 正会員である個人(Web 個人会員 A) 年会費 2,000 円
- 2) 非会員である個人(Web 個人会員 B)* 年会費 5,000 円
- 3) 法人会員である団体もしくは機関(Web 機関会員 A) 年会費 10,000 円
- 4) 非法人会員である団体もしくは機関(Web 機関会員 B)* 年会費 40,000 円

* Web 個人会員 B と Web 機関会員 B は、電子ジャーナル閲覧のみのサービスとなります。

4. RSAI(国際地域学会)への会員登録について

平成 23 年度から RSAI(国際地域学会)への会員登録の方法が変更されています。従来より日本地域学会の会員は自動的に RSAI(国際地域学会)の会員として登録されておりましたが、会員の増加に伴う国際本部事務局の負担を軽減するため、会員情報を電子メールアドレスで管理する事になりました。したがって今後は、会費を納入する事に加え、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録することが必要となります。今後も引き続き RSAI(国際地域学会)の会員となることを希望される会員で、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録されていない方は、会費の納入に合わせて電子メールアドレスを事務局にお知らせください。また RSAI への電子メールアドレスの通知に同意されない方は、日本地域学会事務局にその旨お知らせください。

VI. 日本地域学会設立 50 周年記念事業へのご支援のお願い

日本地域学会は平成 24 年に設立 50 周年を迎えます。昭和 37 年(1962 年)の設立から半世紀、日本地域学会は研究者に議論と交流の場を提供し、地域科学の発展に貢献してきました。この大切な節目にこ

れまでの歴史を振り返り今後の展望を描くことは、諸先輩からの知的遺産を受け継ぐ現会員の責務であり、喜びでもあります。

そこで日本地域学会では、平成 23 年から約 2 年にわたり、設立 50 周年を記念した様々な事業を展開しております。具体的には、国際会議における特別セッションの主催、これまでの歴史と今後の展望を描く記念誌の編纂、内外から来賓を招いた記念大会の開催などです。

1. 50 周年記念事業内容

- 1) 国際会議における特別セッションの主催
- 2) 50 周年記念誌刊行
- 3) 50 周年記念大会開催
- 4) その他

以上の様な記念事業を今後も円滑に推進し、次の 50 年に向けた新たなスタートを切るために、設立 50 周年記念事業委員会は会員諸賢に対し寄附による支援をお願いする次第であります。

2. 寄付金募金要項

- 1) 募金の名称: 日本地域学会 50 周年記念事業
- 2) 募金の対象先: 個人会員、法人会員、その他
- 3) 寄付金額のめやす
 - (1) 会長 200,000 円以上
 - (2) 副会長 50,000 円以上
 - (3) 常任理事 30,000 円以上
 - (4) 理事 20,000 円以上
 - (5) 一般会員 10,000 円以上 (注)
 - (6) 学生会員 5,000 円以上 (注)

(注) 希望者には 5,000 円につき 1 冊の記念誌を贈呈。寄付相当額の全額あるいは一部を 1 冊 5,000 円の記念誌購入に充てることも可能です。

- 4) 募金期間: 平成 23 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日
- 5) 寄付金の用途: 日本地域学会 50 周年記念事業に充当
- 6) 寄付金の送金先

銀行口座: 常陽銀行 (0130) 研究学園都市支店
(104) 普通預金 3635379

口座名義: 日本地域学会設立 50 周年記念事業委員会 委員長水鉋揚四郎 (日本地域学会設立 50 周年)

※口座名は上記カッコ内の通り省略して記載してもかまいません。

7) 税法上の取り扱い: 特にございませぬ。

誠に恐縮とは存じますが、上記趣意をおくみ取りいただきましたうえ、日本地域学会 50 周年にあたり、ご寄付をぜひ賜りますようお願い申し上げます。

3. 日本地域学会設立 50 周年記念事業寄付委員会

委員長: 水鉋揚四郎 (筑波大学)

副委員長: 渋澤博幸 (豊橋技術科学大学)

委員: 齊藤参郎 (福岡大学) 酒井泰弘 (滋賀大学)

多和田眞 (名古屋大学) 筒井信之 (株式会社創建)

原勲 ((社) 北海道未来総合研究所)

福岡克也 (立正大学名誉教授)

水野谷剛 (和光大学) 光多長温 (鳥取大学)

VII. 第 12 回 PRSCO Summer Institute in Beijing, China のお知らせ

第 12 回 PRSCO (Pacific Regional Science Conference Organization) Summer Institute が、北京において下記の通り開催されます。PRSCO は日本地域学会がメインとする国際会議であります。最先端、最新の研究成果を発表する場として、また若手研究者の研究報告や広く海外研究者との交流の場として有効活用していただけます。会員諸賢におかれましては奮ってご参加ください。

大会登録、アブストラクト及び論文提出、ホテル予約等については、大会 HP をご覧ください。

記

開催日: 2012 年 7 月 3 日 (火)-6 日 (金)

開催地: Yifu Conference Centre at Renmin University of China, Beijing, China

大会委員長: Prof. Dr. Wei YUAN (Renmin University of China)

メインテーマ: Regional Development under Globalization and Climate Change

大会 HP: <http://www.prSCO2012.com/>

アブストラクト提出締切: 2012 年 3 月 30 日

論文提出締切: 2012 年 5 月 31 日

以上 ◇推薦資格: 推薦者は、日本地域学会会員であることが必要です。

◇受賞資格等

1) 論文賞及び奨励賞の表彰対象となる研究業績は、過去2年間(暦年)に発表したもので、その主たるものが本学会関連誌『地域学研究(Studies in Regional Science)』及びPapers in Regional Science of the RSAIに掲載されている論文であることが条件です。
2) 奨励賞の応募については、年齢がその表彰対象となるべき主たる研究業績の発表当時35才未満であった事が必要です。

3) 著作賞の表彰対象となる著作物については、過去2年以内に出版もしくは公表された研究図書であることが条件です。

4) 学位論文賞については、表彰の時点において修了後3年以内のもので、当該学位論文に関連した学術論文を本学会の学術セッションで発表を行っているか、または本学会機関誌『地域学研究』あるいはこれに準ずる専門誌に掲載または掲載可として受理されていることが条件となります。なお、年齢による制限はありません。

5) 優秀発表賞については、以下のいずれかである必要があります。(a) 授賞対象となる論文発表の年度末において30歳以下である会員、(b) 授賞対象となる論文発表時において大学院に在籍する会員、(c) 年次大会のEarly-bird Session(アーリーバード・セッション)で発表する会員であり、理事会がその表彰を適当と認めた会員。さらにいずれの場合も、対象となる論文の第一著者であり、かつ年次大会当日に口頭発表を行う本人である必要があります。

◇選考方法: 「日本地域学会 学会賞(奨励賞・論文賞・功績賞)に関する規程」、「日本地域学会著作賞に関する規程」、「日本地域学会学会賞学位論文賞規程」、「日本地域学会学会賞優秀発表賞規程」に基づく選考委員会の審議による。決定次第、受賞者には連絡します。

◇授賞式: 第49回年次大会における総会(平成24年10月立正大学)にて執り行います。優秀発表賞については、翌年の大会で執り行います。

◇応募用紙の請求: 日本地域学会事務局まで賞の種別を明記してご請求下さい。優秀発表賞について

VIII. 学会賞候補者推薦の募集

日本地域学会では、地域科学(Regional Science)の発展に貢献する優れた会員の業績をたたえる為、日本地域学会学会賞を毎年授与しています。

今年度も第21回日本地域学会学会賞授賞選考候補者の推薦の募集を行いますので、どうか奮ってご応募下さい。学会賞は以下の各賞からなります。

功績賞: 地域科学の進歩及び学会の運営に顕著な貢献をなした会員を表彰する。

論文賞: すぐれた研究論文によって地域科学の発展に著しく寄与し、研究業績の意義や貢献が多である会員を表彰する。

奨励賞: 若手研究者ですぐれた研究論文を発表した会員を表彰する。

著作賞: 地域科学の発展に著しく寄与し、その意義や貢献が多である著作物を表彰する。

学位論文賞: 本学会会員である博士または修士課程修了者がその修了要件として提出したすぐれた学位論文を表彰する。

優秀発表賞: 年次大会において優れた論文発表を行った会員に優秀発表賞を授与する。このうち最も優秀な論文発表を行った会員には最優秀発表賞を授与する。

功績賞・論文賞・奨励賞及び最優秀発表賞受賞者には賞状とメダルが、著作賞・学位論文賞及び優秀発表賞受賞者には賞状が授与されます。

第21回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者推薦 応募要領

◇応募期限

1) 功績賞・論文賞・奨励賞・著作賞・学位論文賞: 平成24年4月6日(金)(事務局必着)

2) 優秀発表賞: 平成24年5月31日(木)(年次大会発表申込みと同時に、事務局必着)

◇応募方法: 功績賞への応募は他薦のみ、優秀発表賞への応募は自薦のみですが、その他への応募は自薦、他薦を問いません。所定の応募用紙を事務局に提出して下さい。

は、年次大会発表申込用紙中に応募欄があります。

IX. 会員通信

今回は徳島大学大学院の内藤先生から投稿していただきました。徳島大学では地域の問題の総合的な解決を目指し、地域科学専攻が設立されました。そこでの研究・教育の様子や、日々感じることなどを綴っていただいています。

<研究室便り> 徳島大学大学院
総合科学教育部 内藤徹研究室
徳島大学大学院総合科学教育部
教授 内藤徹

徳島大学では、平成6年に大学院人間・自然環境研究科(人間環境専攻ならびに自然環境専攻)が創設され、また平成15年には独立専攻として臨床心理学専攻が新設されました。その後、「地域創生総合科学」の具体化をさらに一層図るために、従前の人間・自然環境研究科を発展的に解消して、平成21年度より博士後期課程を設置し、大学院総合科学教育部として再出発しました。博士前期課程には地域科学専攻(地域創生分野・環境共生分野・基盤科学分野)と臨床心理学専攻が設置され、博士後期課程には地域科学専攻が設置されています。特に地域科学専攻では、21世紀の社会に求められている持続可能な共生社会を構築するため、幅広い知識と深い専門性を兼ね備え、「環境(人間・社会・自然)と共生した地域づくり」の実現・発展に向けて力を発揮できる人材を養成することを目標とし、地域科学専攻の中に地域創生分野、環境共生分野および基盤科学分野の3分野に分かれています。また平成21年から設置された博士後期課程地域科学専攻では、地域科学の学際性と総合性を最大限に発揮し、地域の諸課題を多面的に調査研究し「地域の再生」に向けた指針を示すとともに、幅広い見識と柔軟な行動力を持つ地域づくりの新たな人材を養成することを目指しています。本学の「地域科学」の概念は、通常考えられている「地域科学」よりもやや広義であり、人文科学・社会科学・自然科学といった伝統的なカテゴリーを乗り越え、諸科学の英知を結集することでその特長をさらに深化発展させ、地域問題のトータルな解決をめざすことを目的としています。

私は平成22年に博士後期課程の担当教員として、前任の釧路公立大学から本研究部に移動してきました。私が所属するのは地域創生部門の「空間経済学研究室」です。私の現在の研究テーマは、「環境政策と地域集積への関連性」です。平成20年にポール・クルーグマンが「貿易パターンと経済活動の立地に関する分析」に対してノーベル経済学賞を受賞したことから分かるように、ここ20数年で空間経済学の研究は大幅に飛躍しました。人や企業の集積は我々に多大なる便益をもたらしてきたことは周知の事実ですが、その一方で、集積によってもたらされた負の効果から目を背けることはできません。私は空間経済学のフレームワークに立脚しながらも世界各地で頻発している環境問題という負の効果について研究を続けています。いくつかの研究成果は、毎年開催される日本地域学会年次大会や国際地域学会の北米大会(NARSC)、環太平洋地域学会(PRSCO)、西部経済学会(WRSA)などで報告を行っています。また執筆した論文は、「地域学研究」をはじめ Papers in Regional Science, Regional Science Policy and Practice等に掲載して頂いています。幸いにもその研究成果の一部に対して、平成16年に日本地域学会から日本地域学会・学会賞奨励賞(「産業廃棄物の処理システムと産業廃棄物税の用途選択問題」)、日本地域学会・学会賞著作賞(「空間と持続可能な環境政策の理論的研究」)を授与されたことは大変栄誉であると思っております。

釧路から移動してきてまだ2年目なので現在博士課程の学生は指導していませんが、修士課程の学生を中心に指導を行っています。担当科目である「総合政策特論」では、経済学を専門とする学生のみならず英文学や社会学を専門とする学生も受講するため、経済学の専門的な知識に偏重せず、「経済学的な視点からの考察」について講義をしています。例えば、イギリスの英文学作家であるデイヴィッド・ロジの著作の中に「素敵な仕事(原題 Nice Work)」という本がありますが、実はこの本の登場人物たちの行動に経済システムの動きが大きな影響を与えています。したがってこれから英文学を専門とする学生でも経済学の素養の有無が今後の研究に影響するのではないかと思います。こうした経済学を専

門としない学生も経済学の素養もしくは視点を身に付けて、自分の研究の幅を広げてもらえればと思っています。また実質的に学術論文を作成するための科目である「総合政策特論演習」では、受講生が興味を持っている分野の学術論文のサーベイを中心に、受講生は各々の修士論文の完成を目標としています。本学に移動するまでに勤務した大学では大学院が設置されていなかったために大学院生を指導する機会がありませんでしたが、教員の職に就いて13年目にして初めて大学院生の指導をすることになり、その大変さそして意義を実感しています。私は大学院時代、現日本地域学会副会長である細江守紀先生(熊本学園大学)に指導をして頂きましたが、先生にとって私のような凡庸な能力しか持ち得ていない者の指導がいかにも大変であったかを今更ながらに感じるとともに感謝している次第です。

本学の大学院博士後期課程における学位取得の条件で、「日本学術会議協力学術研究団体に加盟している学会の査読誌に主論文が掲載されること」という条項があり、日本地域学会もこれに加盟しておりますので、今後は本学の大学院生にも日本地域学会での積極的に論文報告をし、さらには学会誌である「地域学研究」への論文掲載を目標とするように指導していきたいと思えます。「地域科学専攻」を標榜する本学の大学院にとって日本地域学会は益々重要な位置づけとなることは疑いようがありません。したがって、様々な形で日本地域学会と本学の大学院との結びつきが強化されることを切に願うところであります。

(了)

X. 会員の移動

新入会員

正会員 54名

安 立昂(筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生)

Andrade, Katia(北海道大学工学部, 社会基盤計画学研究室助教)

石村 知子(大阪大学大学院国際公共政策研究科)

伊藤 彰宏(北海学園大学大学院工学研究科修士課程)

呉 金虎(中国内蒙古财经学院经济与资源开发研究所副教授)

白井 規善(筑波大学大学院生命環境科学研究科持続環境学専攻大学院生)

王 奇俊(筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生)

王 (筑波大学生命環境科学研究科学生)

大塚 章弘(財団法人電力中央研究所社会経済研究所主任研究員)

大野 正久(九州大学炭素資源国際教育研究センター学術研究員)

岡 朋文(内閣府消費者委員会企画官)

岡寺 智大((独) 国立環境研究所地域環境研究センター研究員)

岡本 信広(大東文化大学国際関係学部准教授)

加藤 基樹(早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター助教)

川合 史朗((株) 創建 代表取締役副社長)

金 智恵(和歌山大学システム工学部環境システム学科学学生(4年))

金 徳鉉(筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生)

熊谷 拓哉(筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生)

Nguyen, Nga Thamt(筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生)

Ngo, Phuong Thi Lan(筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生)

後藤 健太(関西大学経済学部准教授)

崔 青林(立命館大学立命館グローバル・イノベー

シオン研究機構ポストドクトラルフェロー) 科学専攻学生)

齊藤 優太 (北海学園大学大学院工学研究科修士課程) 山下 雅弘 (国際協力機構国際協力人材部国際協力専門員)

堺 正年 (長崎大学大学院工学研究科学生) 山根 真明 (広島県庁地域政策局過疎・地域振興課主査)

櫻井 宏明 (在タイ日本国大使館経済部一等書記官) 山本 祐吾 (和歌山大学システム工学部講師)

霜鳥 知行 (北海道大学大学院工学院北方圏環境政策工学専攻大学院修士課程) 吉川 丈 (兵庫県立大学大学院経済学研究科博士後期課程)

朱 愛軍 (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生) 李 念 (豊橋技術科学大学建築・都市システム学系研究生)

沈 紅花 (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生) 李 凡 (立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部学生)

Jomaa, Khaled Abdul Rahman (筑波大学大学院生命環境科学研究科学生) 蘆 克宇 (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生)

鈴木 嘉人 (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生) 渡部 将来 (筑波大学大学院生命環境科学研究科生物資源科学専攻)

曹 文露 (新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程1年生) 退会会員

宋 俊年 (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生) 正会員 49名

孫 永瑞 (立正大学大学院経済学研究科学生) 朝田 康禎 入江 洋子

孫 爽 (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生) 上田 剛将 植野 和文

橋 直裕 (立正大学大学院経済学研究科博士課程) 植野 甲史郎 太田 恵子

陳 周渝 (名古屋産業大学環境マネジメント研究科博士後期課程) 尾崎 竜宏 鬼木 甫

Tithipongtrakul, Nontachai (南山大学大学院総合政策研究科大学院生 (博士後期課程)) 片田 恭平 金澤 伸浩

長岡 耕平 (八千代エンジニアリング株式会社管理統括本部付) 金子 英文 金子 浩也

藤井 直哉 (北海道大学大学院工学院) 栢原 英郎 韓 帥

Bhuiyan, Abu Taher Mohammad Kamrul Kabir (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生) 木村 立夫 金 香花

Hoang, Thanh Tung (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生) 黒川 洸 古倉 宗治

松岡 宏篤 (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生) 小暮 孝次 是友 修二

松本 明 (株) エックス都市研究所サステイナブルデザイングループ政策チームマネージャー) 崎谷 唯比古 實 清隆

溝口 晃洋 (岐阜県総合企画部統計課主任) ジャダマバー ネレグイ 朱 浩

三井 康壽 (政策研究大学院大学客員教授) 正面 順久 孫 思源

宮内 友弘 (筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻学生) 高塚 順子 高橋 秀樹

高橋 義文 武内 章

立花 敏 棚橋 啓世

玉木 康平 程 紅

中澤 洋輔 沼田 大輔

羽生 和夫 比留間 望人

黄 仁相 Hossain Nahid

六十里 繁 森田 圭亮

山浦 晴夫 山口 高広

山口 祐子

楊 菘茜

渡辺 淳一

法人会員 1 団体

東京電力株式会社

山田 幸一郎

楊 暁冬

会員数

個人会員 1,073 名

法人会員 11 団体